

事業概要：テレワークによる新しい働き方の普及を契機とした移住・定住の更なる促進

申請者	神奈川県						初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,333千円 (59,870千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	「神奈川を知る」、「神奈川に来る」、「神奈川を好きになる」、「神奈川に住む」という、本県の魅力を認識し、地域に来訪して、移住を決断するまでの各段階における取組みを有機的に関連させながら事業を実施することで、人口減少局面を迎えた本県人口の社会増を図り（本県への移住・定住を加速化させ）、将来の地域活力の維持の実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 コロナ禍の収束による都心回帰の動きや令和6年に転出超過に転じた東京都との人口移動の状況を踏まえ、東京在住の方をターゲットとした移住促進の取組を実施する。また、刻々と変化する社会状況に対応するために、移住検討者のニーズ把握やアドバイザーの派遣等を通して、市町村の移住・定住の取組を後押しする。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・東京都在住者をターゲットとした戦略的広報の実施（委託料）10,869千円 ・市町村の取組強化の支援（委託料(専門家謝金、運営経費等)、講師謝金）24,012千円 ・東京都から本県への移住に向けた移住相談体制の強化（委託料(人件費、運営経費等)、ブース出展料）24,989千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業において神奈川県や市町村が取り組む移住相談を経由した移住者の数（+850人） ②本事業において実施するテレワークを切り口としたイベント等への参加者数（+42,000人） ③本事業において利活用された空き家の件数（+57件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html

事業概要：スポーツツーリズム推進事業

継続

申請者	神奈川県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,248千円 (23,123千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の自然環境や地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進により、県内外から誘客促進を図る。 ・地域と連携しながら地域の魅力に磨きをかけて人を呼び込むことで地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・地域の魅力を活かし、宿泊や観光消費につながる滞在型サイクルツーリズムの重要性及び重点的に取り組む。 ・民間事業者や団体など様々な主体と話し合い・意見交換の場である、「かながわスポーツ・プラットフォーム」では滞在型サイクルツーリズムについて重点的に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・滞在型サイクリング体験宿泊パッケージツアー（委託料）22,929千円 ツアーのプランを造成、実施をし効果検証を行う。またメディア取材による広報効果の創出をし、滞在型サイクルツーリズムの認知拡大を図る。 ・プラットフォームの運営、連携の促進（補助金）194千円 プラットフォーム内でスポーツツーリズム部会を設置し、サイクリングを含むスポーツツーリズムに関する事業企画や意見の集約を実施する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①サイクルツーリズム入込観光客数（+127,500人） ②新たに設定したサイクルルートを利用した人数（+37,194人） ③プラットフォームにおける話し合いの場の回数（+26回） ④サイクルツーリズム延べ宿泊者数（+13,698人泊）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効果検証の結果及び 改善方策への反映 が記載されている URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html

事業概要：海業推進事業

旧制度（推進）

申請者	神奈川県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	81,795千円 (17,455千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 水産業を核とした地域資源を活用する産業「海業（うみぎょう）」のビジネスモデルを創出して地域経済活性化を図る。 - 地域の資源（海、魚、漁村）の掘り起こしを行い、地域振興につながる「海業」に活用する。 - 研修の実施等により「海業」を担う人材の育成・確保し、地域産業としての「海業」の定着化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 経営の多角化により漁業者の所得向上を図るため、海業に取り組む漁業者と企業のマッチングを行うとともに、シンポジウムやセミナーを開催して海業を促進する。さらに、県内の教育機関と連携して、海業の担い手を育成するための研修を実施する。		【海業のイメージ】  漁船クルージング  獲れたて地魚の直売
	【R8年度事業 経費内訳】 - 地域特性を活かした海業のモデル事業の効果を評価 事業評価委員会費 445千円 - 漁業者等地域の関係者と企業のマッチング促進 委託費 10,000千円 - 成功事例の展開 委託費 2,000千円 - 海業を担う人材の育成 委託費 5,000千円		【シンポジウム】 
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地方へのUIターン数（+1,950人） ②海業推進事業に係るマッチング件数（+12件） ③海業人材育成プログラム参加者数（+120人） ④海業のスタートアップセミナー及びシンポジウムの開催回数（+6回）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

申請者	神奈川県、横浜市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	178,902千円 (60,365千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地元神奈川・横浜での起業を選択する若年層人材を増やし、起業家の事業成長を通じた県内・市内経済の活性化や地域・生活に関わる課題解決が実現されることを目指す ・まちぐるみで起業家を応援する機運を醸成する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 1. 地域支援者と推進する起業人材への支援 次世代起業人材の起業に関する学習機会を提供、上市前製品・サービスに関するアイデア検証等マーケティング強化の支援、起業人材向けイベントの実施により、まち全体で起業支援機運を高める。 2. 地元への愛着と起業家精神の醸成 起業に関心のある生徒・学生を中心に、同世代の仲間とビジネスアイデアの検討・成果発表などを行うワークショップを実施する。あわせて、周囲の大人等の応援機運醸成を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域支援者と推進する起業人材への支援 ワークショップや地域アイデア検証等実施（委託料）37,040千円 ・地元への愛着と起業家精神の醸成 ワークショップ等実施（委託料）23,325千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①東京からのU・Iターン起業家数及び東京への流出抑制数（+50人） ②次世代起業人材が事業計画（ビジネスプラン）を作成した件数（+270件） ③起業家創出を目指す取組に参加する地域支援者数（+100人） ④次世代起業人材と地域支援者のマッチング件数（+40件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要：相模原市・神奈川県連携 広域スタートアップ支援ネットワーク形成事業

継続

申請者	神奈川県、相模原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	268,600千円 (89,542千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・相模原市を中心とした神奈川県央地域における広域的起業支援組織を立ち上げ、地域が有する起業支援に係るリソースを活用した起業支援を可能とし、起業支援に係るエコシステムを構築することで、地域における起業家、ベンチャー企業の創出及び地域への定着を目指す。 また、ベンチャー企業と大企業等とのマッチング支援等により連携促進を図り、ベンチャー企業の成長及び地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 相模原市を中心とした県央地域における広域的起業支援組織を構築し、地域が有する支援策を活用して、起業家に対して支援を実施する。 ・支援機関、大学、研究機関、企業、支援対象者等が参加する会議体の構築 ・起業家発掘・交流イベント等の開催 ・ロボット・宇宙産業など、技術系ベンチャーの支援 ・オープンイノベーションの創出による既存企業とベンチャー企業の事業提携促進						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・相模原市を中心とする県央地域における広域起業ネットワークの形成 ・広域起業支援ネットワークの構築、技術系ベンチャー支援プログラムの提供等（委託料）19,318千円 ・オープンイノベーションの創出によるベンチャー企業連携事業支援 ・ベンチャー企業と大企業等のマッチング支援、開発・実証支援等（委託料）70,224千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①起業件数及びベンチャー新規雇用者数（+45人） ②起業支援組織・ネットワーク参加者数（+100人） ③取組での起業支援件数・マッチング件数（+75件） ④オープンイノベーション創出の連携事業件数（+45件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/1019756.html

事業概要：社会課題解決型ベンチャー支援事業

継続

申請者	神奈川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	486,780千円 (170,106千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様化する社会課題や行政課題への対応と地域経済の活性化の両立を図ることを目的として、将来の経済の担い手となるスタートアップ、特に社会課題等の解決に資する事業に取り組む起業家やベンチャー企業の支援に係る各種事業を展開する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 社会課題解決に資する事業に取り組んでいる起業準備者やベンチャー企業等に対し、起業に関する様々な支援を行うことにより、地域経済の活性化及び社会課題の解決の両面に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・行政課題の解決に資するアイデアや技術を持つベンチャーと県や県内市町村の連携を促進する。(委託料) 52,312千円 ・社会課題解決型ベンチャーを対象とした資金調達支援を行う。(委託料) 13,992千円 ・サイトの開設などにより県、市町村、支援機関や民間団体等が取り組むベンチャー支援施策の情報を集約、発信する。(委託料) 22,539千円 ・地域課題解決型スタートアップ創出事業 県内各地域の自治体や企業、団体等と連携し、起業家の創出に資する支援プログラムを実施する。(委託料) 31,746千円 ・ベンチャー交流拠点事業 企業、自治体、金融機関等とベンチャーとの交流機会提供のための拠点を運営しベンチャー育成・成長促進に取り組む。(委託料) 49,517千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①起業家数及びベンチャー新規雇用者数 (+45人) ②行政ベンチャー連携事業事業化件数 (+60件) ③支援による資金調達達成企業数 (+45社) ④ベンチャー支援情報サイトのビュー数 (+45,000回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

事業概要：宮ヶ瀬湖フィッシング事業

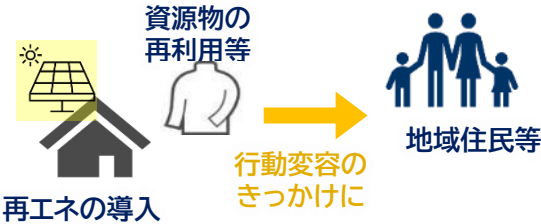
新規

申請者	神奈川県ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	527,432千円 (43,455千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・宮ヶ瀬湖周辺地域において、1 月～ 3 月の来訪者数が少ないことが課題であることや、地元から釣り実現の要望があることを踏まえ、宮ヶ瀬湖において、初心者でも楽しめるワカサギドーム船によるフィッシング事業を行う。 ・域外からの来訪者増を図ることで、宮ヶ瀬湖周辺地域のより一層の観光振興や活性化を図る。 ・フィッシング事業及び関連した地域活性化事業を実施することにより、来訪者及び観光消費が更に増加し、新たな収益源や雇用機会を生み出すことで、既存の地場産業の付加価値を高め、地域経済の維持及び拡大を実現させる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ワカサギドーム船によるフィッシング実証事業を行うことで、宮ヶ瀬湖周辺地域の冬季の来訪者増加を目指す。ドーム船の運航は令和 9 年度から開始し、令和 8 年度は試験放流等、その準備を行う。フィッシング事業により観光消費の増が見込める上に、フィッシング事業への来訪者を地域の食堂、宿泊・滞在等へ誘導する等、連動した地域活性化事業を行うことで、更なる観光消費の増が期待できる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・事業構想・計画策定（負担金）15,000千円 ・魚群調査・試験放流等（負担金）8,788千円 ・事務局運営経費（負担金）7,000千円 ・ワカサギ孵化器購入（負担金） 3,000千円 ○拠点整備事業 ・地域活性化拠点施設（※）新設 設計費 9,667千円 ※フィッシング事業を行うために必要な券売、釣り用具レンタル等の手続を行うほか、展望スペースや観光資源の情報展示スペースを有する施設						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（平均消費単価）（+ 300円） ②フィッシング事業への年間来訪者数（+ 10,260人） ③宮ヶ瀬湖周辺地域への年間来訪者数（+258,913人） ④フィッシング事業により見込まれる付加価値増加額（+22,605千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

※神奈川県、相模原市、愛川町、清川村の広域連携事業

事業概要：産学官連携SDGsプラットフォームを軸とする社会課題の解決と、SXとDXの融合を通じたウェルビーイングの実現

継続

申請者	神奈川県横浜市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	180,000千円 (60,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・社会課題解決に興味・関心のある企業と連携してイノベーションを創出し、まちの魅力・プレゼンスの向上を目指す。 ・SDGs達成、脱炭素社会実現に向け、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー等新たなプロジェクトに取り組み事業者・市民の行動変容につなげる。これにより、経済循環、暮らしの質の向上を図り、地域課題の統合的解決及び「楽しい日本」の発信地を目指す。 ・住みたい・住み続けたいまちとしての付加価値を創出し、SDGs・脱炭素を原動力とした地方創生を進める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・産学官民連携による社会課題解決の推進 市内大学、ステークホルダーと社会課題解決に向けたイノベーションを起こし、新技術開発と連携してプロジェクトの形成・伴走支援を行う。 ・SDGs認証制度などを活用した企業のDX・GXの推進 金融機関(13機関)と連携して、認証事業者がSXに取り組むための支援メニューを検討する。 ・脱炭素化・SDGs達成に向けた事業者・市民と連携したプロジェクト 事業者と連携し、気候変動対策のためのコミュニティ形成や脱炭素関連技術の普及、カーボンニュートラルを推進、循環型社会の構築を図るほか、衣類等の資源物の回収とアプリ連携で地域住民の行動変容を促す。					▼まちづくりと一体となった市民脱炭素促進プロジェクト  ▼社会課題解決に向けた市民・企業との意見交換会 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・共創イノベーション創出協働事業負担金等 19,000千円 ・協働事業負担金等 13,000千円 ・クライメートテック分野等によるニーズ抽出・プロモーション、事業組成協働事業負担金等 18,000千円 ・まちづくりと一体となった市民の脱炭素行動促進プロジェクト（補助金）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業実施エリアにおける人口増加数（+390人） ②プロジェクト件数（+18件） ③SDGsを認知し行動する人の割合（+21%） ④脱炭素ライフスタイルに向けた行動への住民参加率（+37.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要：生涯活躍できるまちづくりに向けた健康横浜 2 1 推進事業

継続

申請者	神奈川県横浜市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	104,280千円 (53,367千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	健康無関心層を含め、市民が自然と健康行動を継続する仕組みを、行政だけでなく、地域の多様な主体と連携して構築・普及することにより、市民が健康や生きがいを持続ける中で、健康寿命の延伸や地域の活性化を図り、持続可能で活力あるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 総合的な健康アプリ（以下「アプリ」という。）の導入により、健康無関心層や健康行動に時間を取りづらい働き・子育て世代に対して、健康行動のきっかけを提供し、健康情報の見える化や、将来予測による生活習慣の改善や健診受診など行動変容を促進し、健康寿命の延伸につなげる。また、高齢者等へのアプリの普及促進に向けたスマホ教室を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 PDCAサイクルを回しながら事業を推進していくため調整・分析、参加登録者数の増加に伴うシステム拡充対応、参加登録者募集及び利用者の参加促進等に向けた広報・プロモーション業務強化を事務局委託において講じる。 ・システム拡充対応（委託料）27,115千円 サーバー容量・処理能力の拡充、セキュリティ対策の確保を実施する。 ・広報・プロモーション業務（委託料）7,262千円 オンライン広告の掲出、地域イベントへの参加、特設Webサイトの更新等を実施する。 ・スマホ教室開催（委託料）4,125千円 高齢者等のスマートフォンの操作に不慣れな方のアプリ導入・活用を支援する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲5,705人） ②健康寿命の延伸（男性）（+0.27年） ③健康寿命の延伸（女性）（+0.63年） ④医療費抑制効果（+31,290千円） ⑤アプリ利用者数（+17,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要：大さん橋国際客船ターミナルを拠点とした臨海部の賑わい促進事業

継続

申請者	神奈川県横浜市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,987,500千円 (735,000千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	令和4年に定めた横浜市の「中期計画2022-2025」において、市内経済を活性化するため、「観光コンテンツの創出」や点在している観光資源をストーリー性をもってつなぐ「戦略的な誘客プロモーション」、「回遊性の向上や多様な主体の連携による賑わいづくりの推進」、客船利用者の満足度向上等による発着拠点として選ばれる港づくり、客船の寄港促進や賑わい施設の改修、などの政策を位置づけている。そこで、横浜港の大さん橋国際客船ターミナルを中心とした他の都市にはない魅力を最大限に活かし、地域全体の観光・経済活動を活性化させる。 大さん橋は、日本周遊の拠点となる発着クルーズの割合が99%で、横浜港全体の2024年年間寄港数は147回(国内第4位)、客船利用者数は約40万人であり、クルーズの前後泊や、街へ観光や買物等に行く機会が期待される。しかし、観光資源である赤レンガ倉庫・みなとみらい地区と山下公園・中華街地区の間にあるにもかかわらず、連携や情報発信が不十分であり、立地条件の良さが活かされていない状況である。そこで、大さん橋の観光機能を強化し、周辺観光資源と連携することで地域全体に回遊性を持たせ、滞在時間の増加や消費を促進する。 また、客船寄港時の温室効果ガスの削減に努め、客船寄港数と客船利用者数の増加、さらに観光消費額の増加に繋げ、経済の発展を促進する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 大さん橋の機能の抜本的な改修や魅力的なコンテンツの開発、効果的な情報発信をおこなう。また、客船が持続的に寄港するための岸壁改修をおこない、客船利用者及び来訪者の増加により地域経済の活性化につなげる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 客船利用者に関するデータを体系的に収集・分析し、その結果を基に戦略的な観光施策やプロモーションを展開することで、魅力的なコンテンツの開発や効果的な情報発信につなげる。 ・市場調査経費：1,000千円、事業構想・計画立案経費：4,000千円 ○拠点整備事業 快適な空間の創出に向けた情報発信センターや休憩空間の整備や夜間イベントやイルミネーション演出の導入に向けた照明施設の整備をおこない、来訪者の満足度向上と再訪促進を図る。 ・ターミナル改修（工事費）：450,000千円 ○インフラ整備事業 客船が持続的に寄港するため、国際的な環境基準へ対応した岸壁改修をおこない、客船寄港を促進することで、客船利用者及び来訪者の増加により地域経済の活性化につなげる。 ・陸上電力供給設備整備（委託費）280,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①客船利用者一人当たりの市内消費額(+3,528 円) ②大さん橋への来訪者数 (+124万人) ②大さん橋ホームページの閲覧件数 (+81,640件) ④大さん橋への客船寄港数 (+72回) ⑤客船利用者の市内宿泊率 (+16%)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要：サーキュラーエコノミー国際会議・展示会開催による地域経済活性化事業

新規

申請者	神奈川県横浜市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	205,000千円 (55,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 横浜市の強みとする環境分野（特にサーキュラー分野）で、大規模国際会議・展示会を開催することにより、国内外からの集客によるにぎわいの創出とインバウンド効果の拡大を促進する。（直接的な経済効果） - 国際会議と展示会の一体開催により、多様なステークホルダーの知見集積や交流を生み出し、ビジネスマッチングやイノベーションを創出する。（中期的な経済効果） - 国際会議・展示会に合わせて、市民向けのアウトリーチを図り、消費者行動の変容を促す。（長期的な経済効果）						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 以下、1～3を一体的に実施することにより、相乗効果を発揮させる。 1. サーキュラーエコノミー分野の新たな国際展示会を公民連携によって立ち上げ、インバウンドとビジネスマッチングを促進する。 2. サーキュラーエコノミー分野の国内外のマルチステークホルダーが集まる新たな国際会議を立ち上げ、産学官金の交流やネットワークを形成し、イノベーション創出につなげる。 3. 次世代の若者をターゲットに、市民向けのアウトリーチを実施し、意識の向上や消費者行動の変容を促す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・展示会開催の準備（委託料）10,000千円 ・国際会議開催（委託料）40,000千円 ・市民向けアウトリーチ事業の実施（委託料） 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における経済波及効果（+25億円） ②展示会等への海外参加者数（+2,350人） ③企業マッチング数（+98,000件） ④学生参加者数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要：中小企業の賃上げ等を通じた人手不足対応支援事業

新規

申請者	神奈川県川崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	177,296千円 (57,432千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	コスト削減・収益拡大を通じた原資（利益）の持続的な確保を起点に、賃上げや職場環境の整備等を通じて従業員の処遇を改善し、人材確保・定着等につなげていくことで、人手不足の解消を図ることを目的とする。「多様な人材や産業が共創し、イノベーションを生み出すまち」の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ①賃上げ・人手不足対応経営基盤強化支援事業 市内中小企業が賃上げや人手不足に対応できるよう、デジタル技術の導入、生産性向上設備の整備、リスクリングや働きやすい職場づくりなどの取組を支援する補助金を実施し、省力化や売上拡大による収益力強化を通じて、持続的な賃上げと人材の確保・定着を促進する。 ②人手不足等対策モデル創出事業 先進性・波及効果の高い取組（モデル事業）として募集・選定し、事業の進行管理や技術的な助言を行うほか、実証場所の提供や他企業とのマッチングなどの支援に取り組むとともに、創出した優良事例は成果報告会などで広く発信し、市内企業への普及啓発を図ることで、取組の横展開につなげる。 ③賃上げ・人手不足対応伴走支援事業 企業の個別の状況や課題に対応できるコーディネータによる支援体制を構築し、市内中小企業者のデジタル技術や生産性向上設備の導入、リスクリング、職場環境の改善、人材確保・定着などの取組に関する助言のほか、他企業や関係機関とのマッチングなど、一気通貫の伴走支援に取り組む。					令和8（2026）年度の実施体制・取組 ■市内中小企業等への意識醸成 企業訪問等を通じた掘り起こし 生産性向上等セミナー 生産性向上ツール導入促進マッチング会 ■取組の実践・好事例の創出 ※事業終了後も継続的なフォローを実施 賃上げ・人手不足対応経営基盤強化支援事業 ○デジタル化に向けたソフトウェアや生産性向上に向けた設備等の導入に係る取組を支援 ○経営課題の解決を図る社内人材の育成の取組を支援 ○働きやすい職場環境づくりや人材確保・定着に向けた取組を支援 人手不足等対策モデル創出事業 ○人手不足等に資するモデル事業の実施 ■事例の普及促進 ※好事例について、市内への横展開を実施 取組事例集 セミナー等での登壇 市内経済団体等への説明会 市情報誌・メディア活用による取組PR ・セミナー時の個別相談会等の実施による課題把握 ・支援メニューへの誘導 ・専門家支援による事業計画の作成支援 ・コーディネータによるフォローアップ ・事業の進捗のサポート ・コーディネータによる普及・促進支援 賃上げ・人手不足対応伴走支援事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・①賃上げ・人手不足対応経営基盤強化支援事業（補助金）22,500千円 ・②人手不足等対策モデル創出事業（委託料）16,704千円 ・③賃上げ・人手不足対応伴走支援事業（委託料）18,228千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①黒字法人の企業割合（+2.4%） ②人材確保ができていない企業割合（+7.4%） ③賃上げを実施した企業割合（+3%） ④賃上げ・人手不足対応に向けて経営基盤強化に取り組んだ企業件数（+75件） ⑤人手不足等対策モデルの事例を創出した件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定 https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html

事業概要：グローバルスタートアップ創出促進事業

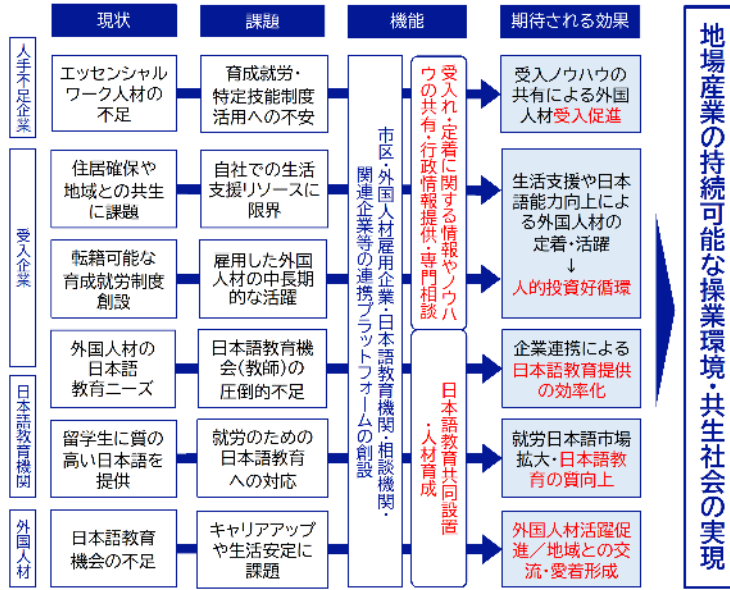
新規

申請者	神奈川県川崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,084千円 (32,028千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ディープテック・スタートアップの飛躍的な成長に必要な海外からの資金調達を支援するため、スタートアップの底上げ(事業計画策定、マインドセット等)とグローバル展開を支えるステークホルダー(海外アクセラレーター、大学・研究機関、事業会社等)とのネットワーク構築を図る。 ・成長したスタートアップを本市経済の牽引役とすることで、本市スタートアップ・エコシステムの強化を図るとともに、本市産業の付加価値を向上させ、世界中から起業家等が集まる都市を目指していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ①グローバル市場で活動する海外のトップアクセラレーター等を本市に招聘し、創業初期のスタートアップを対象に、グローバル市場における資金調達及び事業展開に向けて必要となる経営戦略・事業計画の策定や、現地の会計基準・法規制等への対応を図るための集中講座(Boot Camp)、②現地コミュニティへの接続等に向けた海外における伴走支援 などを実施する。これらの取組みにより、ディープテック・スタートアップの飛躍的な成長に必要な海外からの資金調達を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・グローバルスタートアップ創出促進事業(委託料) 32,028千円 支援対象者選定、集中講座企画運営、専門家・講師手配、スタッフ渡航、海外渡航後フォローアップ、成果報告会等企画運営、アンケート調査、広報活動 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業により支援を受けたスタートアップの本市への立地数(+3件) ②海外資金を含めた資金調達額(+3億円) ③海外現地のVC、大学・研究機関等とのマッチング件数(オンラインを含む)(+35件) ④本事業により支援を受けた個人(法人)の数(+15件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定 https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html

▲海外のアクセラレーターによる集中講座実施イメージ

事業概要：外国人労働者の受入れ・定着に関する環境整備（日本語教育等）事業

新規

申請者	神奈川県川崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,852千円 (11,770千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人手不足分野における外国人材雇用支援を通じて、地場産業の人的投資の好循環を目指す。 ・外国人材雇用企業と行政等関係機関の連携により、地域一体での人材確保・育成に取り組み、持続可能な操業環境に繋げる。 ・適切な日本語教育の実施により、人材確保の安定と外国人材が地域社会に包摂される共生社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 市内の企業に雇用されている外国人材、特にエッセンシャルワーク人材に関して、市・企業・関係機関の連携協議体を組成し、適正な受入れや定着に関する啓発事業、企業ニーズの高い支援施策及び生活支援等に係る情報提供等を行う。併せて、外国人材の定着と活躍を促進する質の高い日本語教育について、基本カリキュラムを作成すると共に、就労のための日本語教育を実施できる人材を育成し、企業からの投資を受けて日本語教室を実施する体制を構築する。					【目指す将来像】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・外国人材受入れ・定着支援事業（委託料） 876千円 ・日本語教育事業（委託料） 7,272千円 ・企業連携プラットフォーム組成事業（委託料） 3,622千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内で特定技能1号の在留資格で就労する外国人の数（+3,414人） ②今後外国人を雇用したいと考えている企業の割合（+8.67%） ③本事業で実施する日本語教室を受講した外国人の数（+180人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定 https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html

事業概要：南渡田地域における新産業拠点形成事業

新規

申請者	神奈川県川崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	350,457千円 (83,497千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	産業構造転換により遊休地化した川崎臨海部の南渡田地域(約52ha)を「マテリアルから世界を変える産業拠点」へと発展させ地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、現在、工事を着工しているⅠ期地区(約5.6ha)のR9年度のオープン(まちびらき)を捉え、対日投資やスタートアップ企業の集積を呼び込むグローバル産業クラスターへとバージョンアップさせるべく本交付金を活用する。マテリアルをはじめとする戦略17分野に親和性のあるスタートアップ企業、アカデミア、ベンチャーキャピタルなど産学官金のプレイヤーが集積するグローバルなオープンイノベーション拠点を目指し、ソフト事業とハード事業の相乗効果を図り、拠点の価値向上により「稼ぐ力」を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業ではR9年度にオープン(まちびらき)を予定する南渡田地域のⅠ期地区(約5.6ha)を対象に、産学官金のプレイヤーが集積するオープンイノベーション拠点の形成を目指し、拠点の広報・プロモーションや情報発信による企業誘致、拠点の価値を発信するまちびらきイベント、対日投資を呼び込むグローバルスタートアップ企業の育成・事業化支援など(ソフト事業)と、Ⅰ期地区開発に伴い増加する交通量を円滑に処理し拠点活動を支えるための地区周辺道路の改良(ハード事業)を実施し、ソフトとハードの相乗効果を生みながら拠点の価値向上を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・拠点プロモーションとしてパンフレット作成・映像制作等(委託料) 1,331千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 82,166千円 (交通量の増加に対応した車線構成の見直しや信号交差点の新設等)					南渡田地域 Minami-Watarida Ⅰ期地区 (約5.6ha) マテリアルから世界を変える産業拠点 約10万㎡の大規模賃貸R&D施設 研究棟A研究棟C研究棟B研究棟商業棟コミュニティ棟研究棟 多様な研究ニーズに対応できる設備仕様 川崎駅副都心線 オープンイノベーションの創出に向けた交流の仕組みづくりを推進 快適な就業環境の創出に向け、商業機能を整備 イメージパース内の周辺建物は、Vexcel Imaging US社の都市モデルを使用しています Ⅰ期地区イメージ	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新産業拠点形成により創出される付加価値額等(+5,854百万円) ②Ⅰ期地区における新規就業者(雇用者)数(+1,676人) ③Ⅰ期地区における企業・大学・研究機関の立地面積(+52,240㎡) ④Ⅰ期地区における企業・大学・研究機関の立地団体数(+40団体) ⑤Ⅰ期地区における産学官連携イベント等への参加者数(+2,400人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定 https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html

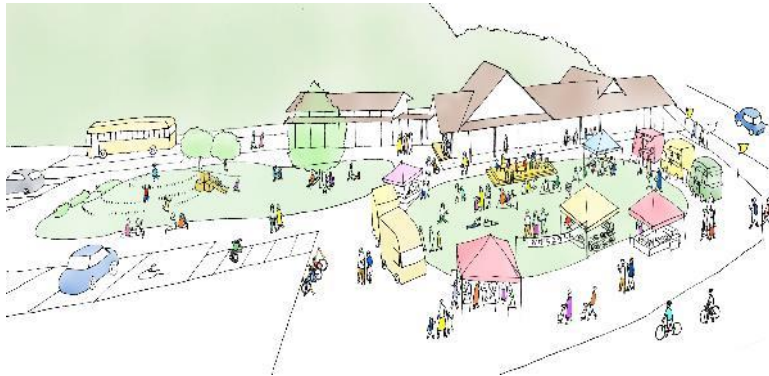
事業概要：イノベーション創出促進・生産性向上・雇用創出の好循環による「稼げるさがみはら」への変革

新規

申請者	神奈川県相模原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	601,867千円 (203,289千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	生産性の向上とともに、イノベーションの創出などによる新たな雇用確保、及び市内事業者に対する市内就業者増加に向けた人の流れを生み出すために、多角的なアプローチにより、取組間の相乗効果を図りながら、地域内におけるエコシステム構築も含めた地域経済、及び雇用環境の好循環への転換の加速化を進めていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ①リニア神奈川県駅（仮称）を中心とした広域的なイノベーション創出環境の形成強化と「新たなしごと」の創出、②ロボット・DX・AI等の活用促進による生産性向上と競争力の強化（RX（ロボティクス・トランスフォーメーション）の実現）、③中小企業の流動化促進によるボトムアップ型の産業活性化、④女性・若年層をターゲットとした就業環境開発と雇用創出といった多角的なアプローチにより、好循環による持続可能な経済基盤を構築する。					 Sagamihara Innovation Gate	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・イノベーション創出推進事業 75,223千円 企業、研究者、支援機関など、多様な人材が集まる拠点を形成し、イベント・セミナーの開催等により、交流・繋がり創出、設備投資等 ・RX促進支援事業 100,560千円 市内企業を中心に、ロボット・DX・AIの3分野の活用促進に向けた相談・コンサルティング、システム展示、人材育成に資するセミナー・講座の開催等 ・事業承継支援事業 4,076千円 経営者の高齢化やコロナの影響などにより先行きが不透明な中小企業を対象に、事業承継に関する相談やマッチングに係る支援を実施 ・オープンカンパニー促進事業 6,997千円 オープンカンパニーを通じた学市内中小企業のつながりを強化 ・女性就業者拡大事業 16,433千円 職場環境の改善や、採用力の向上のための伴走支援を行うとともに、女性が仕事と家庭を両立しながら安定して働き続けられるよう、スキルアップ等の支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規求人数（+289人） ②新たなベンチャー・スタートアップ企業の立地件数（+9件） ③労働生産性向上の企業数（+15件） ④会議体における県事業継承・引継ぎ支援センター等との連携事業者（+65件） ⑤当該事業により支援を行った企業の女性採用者数及び支援を行った就業希望者の女性就業者数（+75人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/1032872.html

事業概要：中山間地域振興に向けた小原の郷リノベーション事業

新規

申請者	神奈川県相模原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	470,849千円 (301,359千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	神奈川県指定重要文化財である小原宿本陣に関する展示機能や休憩機能を有する「小原の郷」を、地域特産品を活用したカフェ、物販、展示・イベント・交流スペース、観光案内所等の機能をもった観光拠点としてリニューアルし、施設の滞在時間の延長を図るとともに、古民家等の周辺観光資源への誘導、広域観光交流の促進を図ることで、観光消費額の増加など地域活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 既存建物を飲食・物販・展示・イベント・交流機能をもった施設に再整備し、地元特産品を使った飲食メニューの開発・提供や、歴史・自然等の地域資源を生かしたイベント等を実施する。周辺観光地やサイクリスト等の施設立ち寄り、滞在を増やすための受入れ環境（芝生広場、ウッドデッキ等）の充実化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 特産品を活用した飲食メニューの開発・提供、地域の資源を活用したイベント、近隣自治体との広域観光連携事業の実施など ・飲食メニューの開発・提供、施設運営人件費（委託料）3,638千円 ・イベント、ワークショップ等の実施（委託料）2,553千円 ・ホームページの構築、広報、PR事業の実施（委託料）1,771千円 ○拠点整備事業 ・相模原市立小原の郷 改修 117,850千円 ・相模原市立小原の郷 トイレ棟 新設 53,366千円 ・相模原市立小原の郷 建築物と不可分な設備工事 66,822千円 ・相模原市立小原の郷 施設整備 39,668千円 ・備品作製・購入 13,984千円 ・消耗品購入費 1,707千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（市全体）（+50億円） ②相模湖地域の観光消費額（+1.23億円） ③相模湖地域の観光客数（+9.8万人） ④施設の年間来館者数（+2.5万人） ⑤施設の年間飲食売上高（+2,240千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/1019756.html

事業概要：横須賀市路線バス自動運転導入プロジェクト事業

新規

申請者	神奈川県横須賀市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	157,110千円 (22,860千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	通勤、通学、通院、買い物、観光等の人流を支えるには、地域公共交通の安定供給が不可欠であるが、路線バス運転士不足が深刻化しており、路線バスの減便・路線縮小リスクが高まっている。その結果、人流の停滞を通じて商業・観光の売上減、雇用機会の縮小、企業の採用・定着への悪影響など、地域経済全体の弱体化を招きかねない。そこで、地域公共交通の持続性・利便性を確保・向上するため、横須賀市・京浜急行バス・ソフトバンクの三者で共同事業体を組成し、官民連携で横須賀リサーチパーク（YRP）を主実証フィールドとして、路線バス自動運転の段階導入を推進する。また、自動運転化により運転士の配置最適化と運行の安定性向上を図り、人流を下支えするとともに、関連技術・サービスの導入を通じた新たな産業創出や地域内投資の呼び込みにつなげ、持続的に稼げる地域経済の基盤強化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 令和7年度は単独車両でレベル2実証を実施し課題を抽出、令和8年度に解決の上、令和9年度のレベル4認可・実装を目指す。並行して、隊列走行は令和8年度からレベル2実証を開始し、令和10年度以降のレベル4認可・実装を段階的に進める。なお、交付金は隊列走行に係る事業に限定して充当する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 隊列走行実験に関わる試験費用(交付対象事業経費):22,860千円 ・現地調律ソフト調整対応 ・現地本番走行のソフト動作確認対応 ・車両調整 ・報告書作成 ・PJ管理費 ・現地調整対応に必要な旅費交通費 本ルートにて自動運転を行うための制御装置・認識装置の調整を行うための走行実験を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における交流人口数（+200人） ②地域における路線バスの利用者数（+41,500人） ③運行区間全線の自動運転割合（+40%） ④自動運転走行可能区間の隊列走行割合（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：自治体間におけるメタバースを活用した広域連携事業

新規

申請者	神奈川県横須賀市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	242,300千円 (79,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・メタバース空間を通じて、都市部・海外の潜在的なファン層と24時間365日つながり、地域への関心・愛着を醸成する。バーチャル体験からリアル来訪へと誘導する新しい観光・交流モデルの構築を目指す。 ・広域連携による実践的なデジタル人材育成プログラムを確立し、地方に住みながらデジタル分野でキャリアを築ける環境を整備する。 ・地域固有の文化資源（伝統芸能・工芸・食文化等）をデジタル化し、メタバース内外で販売・体験提供。首都圏・海外市場を視野に入れた外需獲得により、地域内市場の限界克服を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、複数の自治体（現在3自治体、順次拡大予定）がVRChatをはじめとするメタバース空間で連携し、地域文化の体験イベントやデジタル人材育成、デジタル収益モデルの構築を推進するものである。こうした広域連携によるスケールメリットを活かして人的資源やノウハウを共有し、人口減少やデジタル人材不足、産業基盤の脆弱性といった課題を克服する。さらに、新たな交流・経済基盤を創り、地域活性化と持続可能な事業運営、地方創生モデルの確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地元企業のデジタル人材育成支援事業（横須賀）5,000千円 ・関係人口およびメタバース人口の創出に関する事業（横須賀）12,000千円 ・関係深化リアル訪問拡大事業（倉吉）7,700千円 ・活動コンテンツ調査・整理事業（倉吉）5,000千円 ・デジタルIPの利用（パッケージ）（江津）7,000千円 ・デジタル人材の育成教育の基盤作り、マニュアル作成（江津）19,500千円 ・メタバース事業と情報発信の基盤構築（江津）23,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口（+317,500人） ⑤参画自治体の数（+12団体） ②連携イベントの実施数（+42件） ③メタバース人口の創出（+12,000人） ④クリエイターの創出・就職（+75人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

※神奈川県横須賀市、鳥取県倉吉市、島根県江津市の広域連携事業

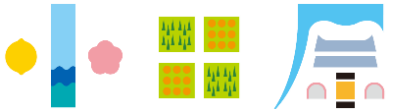
事業概要： デジタル技術の活用による「食とポップカルチャー」を掛け合わせた
デジタルグルメシティ魅力創造プロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	274,600千円 (58,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・ 人流データ等を活用し、市内の回遊性を向上させ、滞在時間を延ばすことで観光消費額の増加を図る。 ・ 小田原城以外の観光コンテンツを造成し、若年層を中心とした交流人口の拡大を図る。 ・ 小田原の食や食文化を広めることで、誘客につなげるとともに、一次産業、二次産業、三次産業にも効果を波及させ、地域経済の好循環につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 既存の観光資源に、新たなコンテンツとして、食やアニメという新たな魅力を加え、その魅力をICTの力で発信・分析・スピード感のある施策等のアクションのある施策に変えていくことにより、価値を上げ、滞在時間を伸ばし、リピーターを増やし、地域経済の好循環及び活性化を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 【施策1：デジタル技術の活用】14,000千円（委託料・負担金） ・デジタルスタンプラリー企画・運営 ・市場調査 【施策2：「美食のまち」の確立】30,000千円（負担金） ・食の啓発イベント、生産者と事業者のマッチングの実施等 ・起業家及び事業者の支援、フードロス削減等の実施 【施策3：ポップカルチャーを活用した若年層へのアプローチ】14,000千円（委託料・役務費・使用料） ・アニメとタイアップした誘客施策の実施		  ↑ 美食のまち @生産者と事業者との交流機会の創出 ← デジタル技術・ポップカルチャー @アニメタイアップによるスタンプラリー
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 一人当たり観光消費額（+712円） ② 宿泊者数（+255,000人） ③ メディア等に取り上げられた件数（+60件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihousousei/kouka/p37099.html

事業概要：様々な地域から集まる若者が生き生きと働ける、地域経済の担い手創出事業

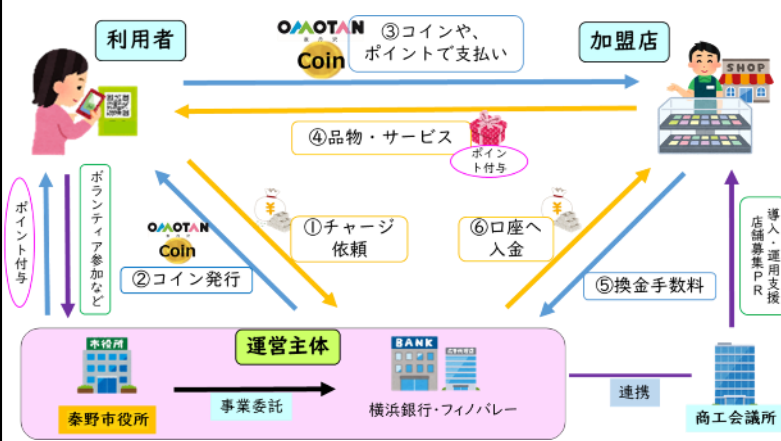
新規

申請者	神奈川県小田原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,355千円 (36,311千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	次世代を担う市内外の若者が本市の地域資源に関心を持ち、事業化に挑戦することや、本市で働く意欲を持つ若者が事業を創出・発展させることを促し、ワークライフバランスを重視する若者が、恵まれた自然環境や立地など余暇の魅力に富む本市において、生き生きと働くことができる環境を整えることで、若者の活力を最大限に引き出すまちの実現を目指す。また、若者の力がイノベーションにつながるための出会いのきっかけづくり、起業・事業展開支援等の施策を講じることにより、本市経済の活性化を図っていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 若者の多様な働き方ニーズを把握し、市内就労とのギャップを明らかにするとともに、小田原で働く魅力や多様な働き方を発信し、若者と企業のマッチング機会を創出する。また、起業支援や伴走支援、交流促進等により、若者が挑戦・定着できる環境を整備し、地域資源の活用と産業活性化を図り、若者の力を生かした持続的な地域経済活性化の実現を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ○若者への働く意識調査（委託料）1,000千円 ディスカッション等講師謝礼（報償費）90千円 ○働く魅力発見勉強会（報償費、需用費）63千円 小田原で働く魅力発信（委託料）508千円 ○市内外の若者への啓発・交流イベント（委託料）6,000千円 若者成功事例の発信等（委託料）2,000千円 ○新しい人材獲得手段支援・若者が働きやすい環境づくりの意識啓発（補助金）2,400千円 ○多世代型交流会等の実施（委託料）6,000千円 ○若者起業支援（補助金）3,250千円 ○若者アドバイスサポート（委託料）11,000千円 ○若者のイノベーション創出（委託料）4,000千円					 若者が 生き生きと働ける 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内への39歳までの転入者数の増加（+246人） ②若者の創業希望者の増加（+6%） ③SNSによる小田原で働く情報発信の閲覧件数（+300件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihousousei/p21590.html

事業概要：三浦海岸海水浴場再生・賑わい創出事業～（仮称）三浦海岸FUN!ビーチプロジェクト～

継続

申請者	神奈川県三浦市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,500千円 (17,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・令和6年に従来の三浦海岸海水浴場の設置者が解散の意向を示し開かれなくなった三浦海岸海水浴場について、コンフォータブルステイ、ビーチスポーツ、音楽、アート等の体験をキーワードとする新たな魅力を創出するための環境整備、コンテンツ提供を行うことによる、入込観光客数の増、宿泊客数の増を目指す。 ・酷暑の日中以外の朝、夕方～夜間の時間の海岸活用による周遊観光の目的地化を目指す。 ・秋～冬の海岸を活用したイベント実施により海水浴場期間以外の海岸利活用を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 三浦海岸海水浴場について、市が開設者となり、コンフォータブルステイ、ビーチスポーツ体験、海辺での音楽を楽しむイベント、アートビーチパークでのアート等の体験をキーワードとする新たな魅力を創出するための環境整備、コンテンツ提供を行うことにより、入込観光客数の増、宿泊客数の増を目指す。 また、酷暑の日中以外の朝、夕方～夜間の海岸や、海水浴場開設期間外の秋～冬の海岸を活用したイベントの実施により、海岸の利活用を促進させる。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・三浦海岸海水浴場賑わい創出事業 賑わい創出各種企画運営（委託料）9,500千円 ・（仮称）三浦海岸海水浴場アートパーク化事業 アートを楽しむ／アートで憩える海岸＝アートビーチパーク事業を実施する団体の事業費（負担金）1,300千円 ・三浦海岸海水浴場賑わい創出事業 コンフォータブル・ステイ体験の提供（パラソル等日よけゾーンの整備）3,000千円 ・（仮称）三浦海岸海水浴場アートパーク化事業 （仮称）三浦海岸アートビーチパーク事業負担金 3,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①三浦市への入込観光客数（+18万人） ②三浦市への宿泊客数（+3万7千人） ③三浦海岸海水浴場への来場者数（+6万人） ④複数の主体（地域団体・民間事業者等）の協働により実施された事業の数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.miurafunbeach.com/

申請者	神奈川県秦野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	345,418千円 (51,151千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 持続可能な地域経済構造の構築、商業デジタル化、地域経済の活性化を目指す。 - 市民生活の利便性向上及び地域コミュニティ活性化等の様々な地域課題の解決を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 持続可能な地域経済構造の構築、地域コミュニティの活性化、市民生活の利便性向上など、本市の抱える多様な地域課題に対応するため、電子地域通貨の導入、普及定着を推進するもの。 【R8年度事業 経費内訳】 ①地域経済の活性化 - 電子地域通貨システムの安定的な運営（委託料等） 45,453千円 - 電子地域通貨専用チャージ機維持経費（役務費等） 726千円 - 電子地域通貨事業推進会議の運営（報償費等） 373千円 ②地域コミュニティ活性化及び地域課題の解決 - 表丹沢の様々な地域資源や魅力を効果的に発信するイベントでの電子貨幣通貨システムの活用（委託料等） 4,000千円 ③電子地域通貨普及のための取組 - 電子地域通貨の普及（チラシ配布等）（消耗品費等） 599千円 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①電子地域通貨の決済額（+68億2千万円） ②電子地域通貨アプリの登録ユーザー数（+44,000人） ③電子地域通貨の登録店舗数（+800店） ④電子地域通貨の行政分野での利活用事業数（+25件）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方針への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.hadano.kanagawa.jp/soshiki/7/1049/4/2/4/3555.html	

事業概要：集いと交流、新たな発見を生み出すプラネタリウムを活用した地域活性化事業

新規

申請者	神奈川県厚木市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	283,800千円 (42,569千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	あつめきドームに光学式・全天周デジタルプラネタリウムを整備し、プラネタリウム鑑賞だけでなく、本市の歴史・文化や地場産業、自然環境の魅力を効果的に発信することで、中心市街地の回遊性向上と商業活性化を図るものである。没入型映像体験により来訪意欲と愛着を高め、観光誘客の促進につなげるとともに、交流人口の拡大による地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 中心市街地に建設中の複合施設「あつめき」内に、光学式プラネタリウム投影機器や全天周デジタル映像投影機器を整備し、多様な活用を図るものである。星空観賞に加え、本市の豊かな自然環境や四季折々のイベント等を疑似体験できる没入型コンテンツを提供し、観光資源の魅力発信と来訪意欲の向上を促進する。あわせて、映像体験だけに留まらず、プラネタリウムシステムを活用したミニコンサートの開催・発表の場として活用する等、施設全体で新たな発見や人と人とのつながりを生み出していく。これにより「また訪れたい」と感じられる魅力的な空間を創出し、市への愛着醸成を図るとともに、中心市街地の回遊性向上と交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化及び持続的な賑わいの創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・光学式投影機器 12,000千円 ・全天周デジタル投影機器 14,085千円 ・運動システム構築 510千円・番組編集システム 540千円 ・コンソール（操作卓） 2,157千円・音響機器 2,815千円 ・2次側電気工事 1,275千円・運搬・搬入・設置・調整費 2,475千円 ・諸経費 2,842千円・消費税 3,870千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①厚木市全体における転入超過数（+3,997人） ②中心市街地の歩行者数（+5,278人） ③市内の延べ観光客数（+30,000人） ④プラネタリウムの利用者数（1日あたり）（+126人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/soshiki/kikakuseisakuka/14/3/index.html

事業概要： 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備事業

継続

申請者	神奈川県海老名市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	775,000千円 (527,050千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市民ニーズに対応した活動拠点であるスポーツ広場・ターゲットバードゴルフ場を整備することで体力向上による健康増進や介護予防を期待するとともに、多目的に利用可能な施設として自然豊かなレクリエーション広場を整備することで市内外を問わず全年代層にわたって多くの人が集まり、コミュニケーションの輪を広げられる拠点となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 市西部の相模川沿いに位置する河川敷をスポーツ・コミュニティ広場として、また圏央道高架下を施設集約拠点として整備することで、市内外を問わない多世代の利用が想定されるとともに、地方創生に欠かせない若者の市内流入を促進するため、当該整備区域周辺の「人口増加」「高齢化率の減少」「若年家族層の定住促進」などを目標にコミュニティ広場の整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・河川敷にスポーツ広場（スクリーニングス舗装）、コミュニティ広場（高麗芝）整備、ターゲットバードゴルフ場（不陸整正）整備 303,050千円 ・高架下施設集約拠点整備 新設 224,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①河原口地区の人口増加（+180人） ②第4圏域（河原口、中新田、さつき町、社家）における高齢化率の減少（▲0.45%） ③スポーツ広場利用人数（+1万5,900人） ④スポーツ団体の会員数（+450人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ebina.kanagawa.jp/shisei/zaisei/zaisei/1018276.html

事業概要：（仮称）海老名市文化交流拠点整備事業（第1期）

継続

申請者	神奈川県海老名市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (72,018千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	総合福祉会館、商工会館、市民ギャラリー、野外ギャラリーの統廃合に合わせ、これらの利用者が交流できる施設を整備するとともに、周辺に位置する中央図書館、文化会館の機能も補完し、多世代、多目的な利用者の交流の促進を図る。新たな交流から生まれるひらめきは福祉・文化芸術の向上とともに商工業の発展にもつながり、地方創生に寄与する。また、新しいビジネスが生まれ、人々がさらに集まることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 総合福祉会館、商工会館、野外ギャラリー、市民ギャラリーを複合化し、また周辺施設である文化会館、中央図書館に不足している機能を補完させる施設であり、これにより、多様な特色が一体となった施設となり、地域の文化やコミュニティの活性化に寄与する。 市内外問わず、新たな刺激や発表の場を求める利用者、新しいフィールドやアイデアを求めて起業を考えている人や経営者が本施設を訪れることで本市の人口増加につながる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 (仮称) 海老名市文化交流拠点整備事業(第1期)新設 ・コンストラクション・マネジメント業務 36,251千円 ・設計・施工一括業務 35,767千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の人口(+6,612人) ②地域の交流人口(本施設利用者数)(+23.6万人/年) ③隣接施設からの回遊者数(+19.1万人/年) ④本施設で実施するイベント数(+104件/年) ⑤市内で起業を望む相談者数(+20件/年) ⑥市内で起業に至った事業者数(+10件/年)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ebina.kanagawa.jp/guide/bunka/bunka/1018109.html https://www.city.ebina.kanagawa.jp/shisei/zaisei/zaisei/1018276.html

事業概要：「子育てするなら南足柄」魅力ある外遊びの場づくり整備事業

継続

申請者	神奈川県南足柄市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	390,199千円 (120,835千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	子育て世代からのニーズが多く、大人から子供までが自由に遊ぶことのできる外遊びの場を整備することにより、市民の子育て満足度を向上させるとともに、当市を訪れた市外の方から当市の子育て環境の良さを認知していただき、「地方への人の流れ」につなげることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 市民アンケートの結果等から、外遊びの場の整備に対するニーズや要望が認められたため、市内4地区のうち、人口が多い3地区の公園（福沢地区：運動公園、岡本地区：岩原公園、南足柄地区：足柄森林公園丸太の森）の遊具や設備等を整備する。令和8年度は岩原公園の整備を進め、住宅地に囲まれた身近な公園としての魅力を高めることで、誰もが楽しく健康に過ごし、地域の人々の交流を生み出す場を創出する。					 AIによるイメージ画像です	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・岩原公園 ベンチ等の休憩施設の拡充、公園敷地一体のバリアフリー化 施設整備 120,835千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増減の差（累計）（+375人） ②運動公園の利用者数（+8,200人） ③市民実感度調査「誰もが楽しく、健康的に過ごすことができる公園が維持・整備されていると感じますか」のうち、「そう感じる」「やや感じる」の割合（+10%） ④足柄森林公園丸太の森の小学生以下の入園者数（+100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：「未来へのASHIGALABO」移住定住・関係人口創出促進事業

継続

申請者	神奈川県南足柄市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,445千円 (7,856千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	南足柄市における移住定住の基礎となるコミュニティ「未来へのAHIGALABO」を創設し、移住者と地域住民がつながり、地域に根差すことで持続可能な地域の活力の維持と発展に寄与することを目的とする。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 「南足柄ラーニングラボ」「南足柄チャレンジラボ」「南足柄BASE」「南足柄くらしラボ」の4段階の取組を年度ごとに実施することで、移住者と地域住民がつながるコミュニティづくりを行う。また、広く移住希望者に広報・PRを行うため、市プロモーションサイトの改修やパンフレットの作成により、南足柄市に興味をもった方が地域の特色等を把握しやすく、移住相談が容易にできる環境整備を行う。					未来へのASHIGALABO(ステップのイメージ) 4F 南足柄くらしラボ(移住相談) 3F 南足柄BASE(宿泊施設) 2F 南足柄チャレンジラボ(企画支援) 1F 南足柄ラーニングラボ(市民大学)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・未来へのASHIGALABO運営・事業経費(委託料) 2,581千円 ・イベント出展・プロモーション(委託料) 1,645千円 ・「未来へのASHIGALABO」運営経費(委託料) 253千円 ・移住希望者向け生活マップ更新 デザイン・印刷経費(委託料) 231千円 ・市プロモーションサイト改修(委託料) 1,870千円 ・パンフレット等制作・印刷(委託料) 1,276千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増減の差(累計) (+225人) ②市ホームページの移住定住専用サイトの年間ページビュー数 (+1,600回) ③「未来へのASHIGALABO」における移住者・地域住民とのイベント開催数 (+12回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：外国高度人材を知る・活かす・採用するプロジェクト

新規

申請者	神奈川県綾瀬市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	20,000千円 (4,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・海外大学から専門的な知識を習得している高度外国人材を市内企業へ誘致し、市内事業所（第 2 次産業）の従業者確保、人材・技術の承継者不足の解消に繋げる。 ・従業者・技術の承継者不足の解消により、市内事業所（第 2 次産業）の継続的かつ活発な企業活動を促進する。 ・外国高度人材の定着により、当該人材の企業経営部門への参画や海外市場への販路拡大の原動力・架け橋の役割を果たすことで、企業の稼ぐ力の底上げを図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 外国人材の育成・確保に関するノウハウを持つ民間事業者と連携して事業を進めていく中で、事業者が実施する現地（海外）におけるリクルート、日本語研修や面接などを経て、市内企業が外国高度人材の「インターンシップの受入れ」及び「雇用」を行うことへの支援を行う。 さらに、本市では令和 7 年度にハノイ工科大学及び(株)AiDEMと協力協定を締結しており、これらの連携を活かした海外大学からの専門的な知識を習得している精度の高い高度人材の受け入れ支援を行うことで、市内企業の経営課題（高度人材の不足）解消に繋げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海外大学に在籍している学生のインターンシップ受入れ経費 1,000千円 ・海外の大学に在籍している学生の採用・受入れ経費 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人市民の人数（+ 2,100人） ②雇用された外国高度人材の人数（+ 50人） ③外国高度人材の受入れ企業数（+ 25社） ④外国人高度人材の獲得により、海外への販路拡大・事業展開につながった企業数（+ 3社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 9 年 3 月公表予定

事業概要：ストリートスポーツ推進事業

継続

申請者	神奈川県寒川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,476,114千円 (678,758千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	ストリートスポーツを推進することで、寒川町が若者にとって過ごしやすく、住みやすい町であるという認知度を高め、若者の関係人口を創出するとともに定住人口の増加を目指す。そのため、町内在住の選手たちとともに、ストリートスポーツの聖地化を目指して寒川町ならではの強みを活かした取り組みを実施していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ストリートスポーツパークを建設し、町内在住の世界トップレベルの選手と連携することで、オリンピック関連事業や世界大会の開催が可能となるストリートスポーツパークを整備する。 寒川町特有の強みであるストリートスポーツ文化を発展させ、若年層に選ばれ続ける魅力的な環境を創出することで、持続的な関係人口の獲得を目指す。					 新たなストリートスポーツパークイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ストリートスポーツパーク施設整備費(新設)及び用地造成費 678,758千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口(2030年) (+564人) ②ストリートスポーツパークの利用者数(町外) (+176,705人) ③若者をターゲットにしたイベント開催 (+50回) ④レッスン実施回数 (+1,200回) ⑤合宿実施回数 (+10回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.samukawa.kanagawa.jp/soshiki/kikaku/kikakuseisaku/kikaku/info/sougousenryaku/tihousousei.html

新たなストリートスポーツパークイメージ

繼續

申請者	神奈川県大井町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	55,800千円 (16,600千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	都心からのアクセス性に優れた立地を活かし、生活の一部に「農」を取り入れた暮らしを提供することにより地域の多様な担い手の創出と新たなネットワークの構築により移住・定住促進につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 高齢化や担い手不足により進む荒廃農地の増加に歯止めをかけるため、農業体験事業などを通じて獲得してきた当町のファンを中心に、「農」ある暮らしの実現による新たな農業の担い手確保や市街化調整区域への移住を促進しつつ、農業をより収益性の高い魅力ある産業とすべく、6次産業化を推進し、バリューチェーンを構築していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・夢おいファーマー認定者支援事業 農業者等交流会開催事業費 100千円 ・「農」ある暮らし移住・定住促進事業 移住定住コンシェルジュ派遣（委託料） 4,000千円 移住定住プロモーション制作（委託料） ・「農」ある暮らしコンシェルジュ養成事業 養成研修会開催（委託料） 3,000千円 ・食農プロフェッショナル養成及び食農バリューチェーン戦略の事業 養成研修会開催（委託料） 5,000千円 ワークショップ開催（委託料） 3,000千円 食農バリューチェーン戦略策定支援（委託料） ・農業生産法人の設立事業 専門アドバイザーによる相談業務（委託料） 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数（+10人） ②移住相談件数（+50件） ③市街化調整区域への移住者数（+6人） ④「農」ある暮らしコンシェルジュの増加数（+45人） ⑤農業生産法人の設立件数（+1件） ⑥講習会開催回数（+10回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oi.kanagawa.jp/

事業概要：ひょうんのまち“おい”ビジネスモデル促進事業

継続

申請者	神奈川県大井町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,365千円 (7,095千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町のシンボルとなっている「ひょうたん」の資源と地域の大きな課題となっている遊休農地の活用により、食用ひょうたんや加工品用ひょうたんの栽培から加工、販売までのビジネスモデルを創出し、農業生産者や新たなひょうたんプロモーションに係る担い手の確保につなげるとともに、皆が集える新たな町の拠点づくりを進め「ひょうたんのまち」を町内外に発信する。また、事業を通じて獲得した町内外からの「ひょうたん」に関わる皆が集える新たな場を創出し、町だけでなくコミュニティ内での活動から継続したプロモーションや栽培文化、新たなコンテンツの創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 町内外のイベント等を通じて、各種ひょうたん加工ワークショップを開催し、作成されたひょうたん加工品を活用したプロモーション活動から新たなコミュニティの創出へとつなげる。また、ひょうたんの栽培・加工の知識を持った者（ひょうたんアンバサダー）が町内外において「ひょうたんのまちおい」の魅力発信を行い、栽培から収穫、加工までを一体的に体験できる仕組みを構築し、体験観光イベントとして更なる誘客につなげ、関係人口の創出につなげるとともに遊休農地の解消とひょうたんの収穫量を増加させ、ひょうたん栽培の事業化、ワークショップの規模の拡大、特産品としてのひょうたん商品の販売等、観光消費拡大につなげる。更に、「ひょうたん駅」として親しまれている駅舎を地域観光の拠点としての利活用を進めるため、地域との意見交換や運営を担う団体の発掘・育成を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「ひょうたん駅」利活用推進事業 5,000千円 「ひょうたん駅」運営体制構築事業（委託料） ・「ひょうたん」によるまちづくり推進人材育成事業 2,075千円 ひょうたんアンバサダー事業／ひょうたんアンバサダー誘客促進業務（委託料）／ひょうたんプロモーション事業／ひょうたんランプワークショップ事業／ひょうたんコミュニティ創出事業 ・ひょうたん栽培普及・遊休農地活用事業 20千円 体験観光イベント委託／講師謝礼等					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+340,000円） ②地域団体の設立数（+2団体） ③ひょうたん関連商品開発数（+4商品） ④ひょうたん栽培による遊休農地利用面積（+2,000㎡）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oi.kanagawa.jp/

申請者	神奈川県大井町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,920千円 (2,560千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	広域で整備した「ジビエ処理加工施設」において、処理されたシカ等の食肉の利活用においては、販路の確保等に苦慮している状況にあるため、販路拡大としての消費者とのマッチングと認知度の向上のための普及プロモーション、さらには飲食店でのジビエメニュー開発支援やジビエ料理の提供、特産品としての価値を高めることで来訪者や消費者に新たな選択肢を提供するとともに、新たな産業の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 地域資源であるジビエ肉の販路拡大と認知度、消費拡大に向け、飲食店向けジビエ料理講習会や試食会の開催や地元食材を使用した新しいジビエ料理メニュー開発支援、ジビエメニュー掲載パンフレット等の作成・配下によるプロモーション活動、また、イベントの開催を通じたジビエの魅力発信とジビエ料理の提供による普及啓発活動、更には飲食店等でのジビエ料理提供を通じて、ジビエ肉の知識と理解を深め、更なる普及促進などを行うことで、食肉加工から消費まで一貫した流れを作り、新たな産業の創出と地域経済全体の活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ジビエメニュー開発事業 800千円 ジビエ料理開発補助／お試しジビエ補助 ・ジビエフェア開催事業 700千円 ジビエ普及促進に向けたイベントブース出店等 ・ジビエ商品開発事業 1,060千円 ジビエ商品開発に向けた検証、開発経費						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+400万円） ②ジビエ料理を取り扱う町内飲食店数（+6件） ③町内飲食店が取り扱うジビエメニュー数（+12件） ④ジビエ加工処理施設への搬入頭数（+95頭） ⑤飲食店での売上（+4,100万円） ⑥ジビエ商品売上（+5千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oi.kanagawa.jp/

事業概要：スポーツツーリズム推進拠点整備事業

継続

申請者	神奈川県松田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	653,073千円 (212,136千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 松田町寄（やどりき）地区にある観光交流拠点施設である「寄自然休養村管理センター」をリニューアルし、寄地区を訪れるスポーツ団体、観光客の受入環境を整え、「寄・里の駅」として、改めてスポーツツーリズム及び観光振興の拠点としての機能を復活・充実させ、寄地区全体の観光消費額の増加を図る。 - 併せて、周辺施設として一体的に運営しているスポーツ施設（寄みやまグラウンド、寄テニスコート）の周辺整備を行うことで、新たなスポーツ需要を呼び起こすことでスポーツツーリズムを推進し、交流人口の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 スポーツツーリズムの推進によるスポーツに関連する関係人口増加による地域振興を目的として、観光交流拠点施設のリニューアルと、周辺施設として一体的に運営しているスポーツ施設（寄みやまグラウンド、寄テニスコート）再整備を実施する。併せて地域一体となった受入環境・実施体制の構築を実施する。					 ←現在の 寄自然休養村管理センター  人工芝生化した 寄みやまグラウンド→	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 - 誘客促進事業 8,450千円 - 新たなスポーツの受入環境検討 4,220千円 - 拠点機能実践事業 10,200千円 - クアオルト環境整備事業 715千円 ○拠点整備事業 - 寄テニスコート再整備（3面→6面） - 管理施設の新設 29,300千円 - 既存テニスコートの改修及び増設 154,251千円 - 宿泊施設の強化充実 - 古民家「旧安藤邸」の改修 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①寄地区の観光消費額（+2億3,040万円） ②センター利用者数（+2,530人） ③寄地区の観光客数（+92,000人） ④スポーツ施設の利用者数（+31,000人） ⑤寄地区内の新雇用者数（+124人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihousousei/

事業概要：命の源(水)を活用する水産業創出拠点および「緑と清流のまち」ブランディング事業

新規

申請者	神奈川県松田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	597,850千円 (566,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源である「水」に着目し、水道水を原料とし「ボトルドウォーター」の生産設備を新設し、地域外への販売を行うことによって、地域経済への波及を目指す。 ・同時に、水によるシティプロモーション及び地域のブランド化を推進することにより、関係人口などの増加や地場産業の復活並びに大小の企業誘致を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 豊かな自然環境のもとで育まれた当町の地域資源である「水」に着目し、水道水を原料とする「ボトルドウォーター」生産施設を新設し、商品を開発したり、水道水の販売先を新たに地域外に求め、販路を拡大したりする。水道会計への貢献を基礎とし、地域全体への経済波及効果を図る。販促の一環として、「水」のブランディングにも着手し、「豊かな水資源」をコンセプトとしたシティプロモーションも同時に行い、関係人口の創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ブランド化支援及びプロモーション費（委託料） 16,500千円 ○拠点整備事業 ・建築物工事 生産拠点整備 新設 550,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産業出荷額（+3.01億円） ②新規雇用者数（+15人） ③コラボレーション事業者数（+27件） ④ブランド認知度（+25%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihousousei/

事業概要：真鶴町関係人口創出・成長拠点化事業「まなとも」プロジェクト事業

新規

申請者	神奈川県真鶴町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	144,225千円 (36,445千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル実装を前提に、地域内外の多様な人材が継続的に関わる関係人口経営へと転換し、地域課題の解決と価値創出を実現する。真鶴町オフィシャルアンバサダー制度を中核に、関係人口を「共創パートナー」として位置付け、来訪・地域内消費・地場産業への関与を循環的に生み出す仕組みを構築する。そして、町民・事業者との相互刺激による新たな挑戦を生み出し、町内外の多様な人材が「学び」と「成長」を軸に交わり続け、ヒト・モノ・コトがより良い形を目指して動き続ける地域活性化の実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・真鶴町が目指す将来像と関係人口の位置付けを明確化し、関係人口を単なる来訪者や応援者ではなく、地域経営の担い手として捉える戦略の再設計 ・関係人口のデータベース化、日常的な接点の創出、地域経営への参画促進を実現するため真鶴町オフィシャルアンバサダー制度（関係人口有料会員制度）を導入・運営し、関係人口が地域外に居住したままでも、アンバサダーとして明確な役割を持ち、地域を創る一員として活動できる仕組みを構築 ・関係人口の「接点→参加→会員化→貢献→継続」というプロセスをデジタル上で一気通貫に把握・運用できる体制を構築。ダッシュボード等を用いて定期的に成果を検証し戦略的な地域経営へと転換 ・「大人の地域留学」等を通じ、地域外人材が町内事業者や住民と連携し、地域課題解決プロジェクトに取り組む機会の創出による地域課題解決と人材育成					真鶴町関係人口創出・成長拠点化事業「まなとも」プロジェクト 事業概要 ソフト事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・制度設計・事業運営体制基盤構築支援（委託料）17,545千円 ・真鶴町オフィシャルアンバサダー制度の構築/実証（委託料）6,700千円 ・大人の地域留学制度「まなとも留学（仮称）」の構築/実証（委託料）4,500千円 ・関係人口DXに要するデジタルサービス環境等構築（委託料）7,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業における付加価値増加額（+5,850千円） ②UIターン・二拠点居住等による真鶴町の地方創生人材として確保につながった人数（+9人） ③大人の地域留学制度活用による人口増加数（滞在人口の数）（+90人） ④アンバサダー制度登録者数（関係人口の数）（+500人） ⑤真鶴町オフィシャルアンバサダーまたは紹介者による真鶴町へ訪問した人の数（+1200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.manazuru.kanagawa.jp/soshiki/seisakusuishin/seisakusuishin/1188.html

事業概要：多様化するニーズに対応するゆがわら食文化醸成プロジェクト

継続

申請者	神奈川県湯河原町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	31,600千円 (12,200千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・健康増進に関心の高い方々の観光需要を取り込むために、ロカボ対応食の開発を後押し、ヘルスツーリズムによる新たな観光需要を創出する。 ・SNS映えなど見た目にも魅力がある湯河原らしさを盛り込んだ商品を開発・展開し、町内外からの集客を狙う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 新たに「食」による地域活性化をテーマに、食を通じたヘルスツーリズムの推進や湯河原らしさを盛り込んだ食べ歩き商品の開発・展開による町外からの更なる集客を目指すことで、消費の拡大が期待できる。ロカボ(©一般社団法人食・楽・健康協会)は心身の状態の維持に直結することから、神奈川県が取り組む「未病」とも密接に関係し、湯河原の資源である温泉旅館と健康維持を組み合わせたヘルスツーリズムの取り組みとして注目を集め、町の付加価値を向上させることによる地域経済の発展と関係入口の創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・(仮) 美食×健康推進事業 美食×健康推進企画・運営委託費用(委託料)3,500千円 ・(仮)魅力ある食文化醸成事業 食べ歩きが可能な名産品の開発・販売イベント実施補助費用(委託料・補助金)5,700千円 ・新たに実施する街歩きイベント委託費用(委託料)3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+450百万円) ②観光客数 (+450千人) ③ロカボ対応の食事を開発し、提供する事業者数 (+20箇所) ④湯河原らしさを盛り込み開発した商品の販売数 (+3,600個)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/soshiki/17/1914.html